

I 平成26年度 林業試験場研究課題一覧

推進項目	中項目	小課題	課題名	期間	担当	P							
1 地域 の特性に 応じた森 林及びみ どり環境 の充実	(ア) 森林の 多面的 機能の 発揮の ための 研究開 発	地球環境及 び国土を保 全する森林 管理技術の 研究と開発	・リモートセンシングにおける3次元情報解析技術の開発	24~26	道南支場	3							
			・風況にあわせた風害対策により収量・収益を最大化する人工林管理技術の開発	25~27	環境G	4							
			・酸性雨モニタリング(土壌・植生)調査 (環境科学研究センター主管)	25~27	経営G	5							
			・防災林の流体力に対する機能向上に関する研究	24~26	環境G	6							
			・カンラン岩流域と森林形態が物質フローおよび陸域・沿岸域生物資源に与える影響の解明 (北海道大学主管)	24~27	機能G	8							
			・人工林の保残伐がもたらす生態系サービスを大規模実証実験で明らかにする (森林総合研究所主管)	25~29	機能G、保護G	9							
			・北海道中標津町を対象とした吹雪発生予測システム活用と効果的な雪氷防災対策への支援 (防災科学技術4研究所主管)	25~27	環境G	10							
			・湿地生態系における樹木を介したメタン放出:変動要因の解明と系全体フラックスの推定 (東京農業大学主管)	26~28	機能G、経営G	11							
			道民の生活 環境を守る 森林管理技 術の研究と 開発	道民の生活 環境を守る 森林管理技 術の研究と 開発	道民の生活 環境を守る 森林管理技 術の研究と 開発	・海岸防災林の津波減衰機能を発揮させる林帯整備・管理方法の開発	25~27	森林環境部長	12				
						・保安林に対する強度間伐の実証的研究	25~27	環境G	13				
						・防風林が飼料作物の収量に及ぼす影響の評価	26~28	環境G	14				
	・防雪施設周辺における非平衡状態の吹きだまり形成過程の解明 (防災科学技術研究所主管)	25~27				環境G	15						
	・北海道太平洋沿岸の海霧を考慮した気候の乾湿度に対する海浜樹木の環境応答	26~28				環境G	16						
	・太平洋戦争後の日本海北部沿岸における砂丘荒地の状況と周辺住民の生活環境	26~27				環境G	17						
	(イ) 森林の 生物多 様性保 全と健 全性維 持のた めの研 究開発	森林とのふ れあいや道 民の森林づ くり活動を 支援する研 究と技術開 発	森林とのふ れあいや道 民の森林づ くり活動を 支援する研 究と技術開 発	・企業の森づくり活動体系化による支援手法の提案	25~26	緑化G、道東支場	18						
				(イ) 森林の 生物多 様性保 全と健 全性維 持のた めの研 究開発	森林の生物多 様性保 全と健 全性維 持のた めの研 究開発	森林の生物多 様性保 全と健 全性維 持のた めの研 究開発	・森林管理と連携したエゾシカ個体数管理手法に関する研究 (環境科学研究センター主管)	24~28	保護G	19			
							・森-湿原-漁業のつながり調査 (NPO法人主管)	25~26	機能G	20			
							・北海道東部・風蓮川流域における流域保全対策が草地・沿岸域双方の生産活動に与える影響 -森里川海の物質の環・地域住民の環の再生をめざして-	25~27	機能G	22			
							・人工林において生物多様性保全と木材生産は両立できるか?-保残伐実験による検証と普及 方法の提案-	25~27	保護G、経営G、 機能G、道北支場	23			
							・シカの採食が森林植生に及ぼす不可逆的变化のプロセスの解明	25~27	保護G	24			
							・林業機械の走行が林床植生発達と樹木の更新に与える影響の解明(森林総合研究所主管)	25~27	環境G、経営G	25			
							・北方林における攪乱後の主要樹種の成長と死亡:長期ストレスとしての個体間競争の影響	26~28	経営G	26			
							・保残伐施業におけるエゾシカ影響解析のための密度推定	26	保護G	27			
							森林・樹木 の健全性を 維持する研 究と技術開 発	森林・樹木 の健全性を 維持する研 究と技術開 発	森林・樹木 の健全性を 維持する研 究と技術開 発	・トドマツ根株腐朽被害地における次世代林造成技術の開発	26~28	保護G	29
										・情報化学物質によるカラマツヤツバキイムシのモニタリング技術の開発	26~28	保護G	30
										・遺伝子浸透を伴うマイマイガの種分化に関する研究(東京薬科大学主管)	23~26	保護G	31
										・分子データに基づくハバチ類幼虫の同定(国立科学博物館主管)	25~28	森林資源部長	32

北海道立総合研究機構林業試験場年報 平成26年度(2014年)

推進項目	中項目	小課題	課題名	期間	担当	P	
	(ウ) 身近なみどり環境の充実のための研究開発	北海道の風土に適した緑化樹等の新品種や生産技術の研究と開発	・道産桜における芳香成分等の新たな利用方法の開発	23~26	緑化G、道東支場	33	
			北国の環境に適した緑化技術や維持管理技術の研究と開発	・遊休農地の樹林化並びに小果樹生産地としての利用を目指した技術の開発	25~27	緑化G、道北支場	34
				・石炭露天掘り跡地の初期成長促進を図る木本緑化技術の向上	25~29	緑化G、保護G	35
				・共振測定装置による樹木内部欠陥診断の汎用性の向上	26	緑化G	36
2 林業の健全な発展及び森林資源の循環利用の推進	(ア) 林業の持続的な発展のための研究開発	森林資源の充実を図る育林技術の研究と開発	・「新たな住まい」と森林資源循環による持続可能な地域の形成(林産試験場主管)	22~26	経営G、道南支場	37	
			・地域・産業特性に応じたエネルギーの分散型利用モデルの構築(北総研主管)	26~30	経営G、道南支場	39	
			・成熟化するトドマツ人工林材の用途適性評価と利用技術開発(林産試験場主管)	26~28	経営G	40	
			・林分状況に応じたカラマツ人工林単木管理手法の提案	25~26	経営G、道南支場	41	
			・天然林の育成・資源保続に向けた樹種別資源量の評価	26~27	経営G	43	
			・アカエゾマツ人工林の間伐シミュレーションソフトウェアの開発	26~28	経営G	44	
			・道南地域における人工林施業支援ツールの開発	26~28	道南支場、森林資源部	45	
			・天然更新したカラマツ・トドマツ幼樹の成長を促す施業方法の開発	26~29	道東支場、経営G	46	
			・広葉樹林化技術の実践的体系化研究(森林総合研究所主管)	26~27	経営G、道南支場	47	
			・トドマツ人工林材の利用促進体制の検討(林産試験場主管)	26	経営G	48	
			森林施業の低コスト化と森林資源の高度利用を図る技術の研究と開発	・集材方法と地形条件を考慮した森林作業道適正配置パターンの提案	24~26	道北支場	49
				・収益性及び資源構成に基づく林業経営シミュレーションモデルの開発	25~27	経営G、道南支場	50
				・保残伐施業におけるフォワード集材作業の実証的研究	26~27	道北支場	51
			新たな品種開発に向けた林木育種技術の研究と高度化	・林業用優良種子の安定確保に向けた採種圃整備指針の策定	26~28	経営G	52
				・カラマツ類の効率的な着花促進法の検討	22~26	経営G、道北支場	53
				・北海道に適したコンテナ苗木生産技術の開発	25~27	経営G	55
				・森林及び林業分野における温暖化緩和技術の開発(森林総合研究所主管)	22~26	経営G、道北支場	57
・コンテナ苗木を活用した低コスト再造林技術の実証研究(森林総合研究所主管)	26~27	経営G		59			
・根釧地域に適したトドマツ二世代精英樹の選抜	26	経営G		60			
・カラマツとグイマツ接ぎ木ポット苗の着花を誘導する栽培管理手法の開発	26	経営G	61				